

作成者 高橋 爾

1. 2015年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	29,111	95.1	⇒
支出	38,352	100.2	↑
経常収支差額	-9,251	104.6	↓

評価：地活C補助金はほぼ同額なので、相談支援も予算並。前年度よりも経費が微増で収益性はやや下がる



② 職員配置と研修（職員数は2016年1月現在）

- ・退職職員を排出してしまうなど、職員のSV機能等に大きな課題を残した。
- ・ソーシャルワークの価値基盤を固めながら職歴や経験に応じた知識・技術に関する研修の立案実施やSV機能の強化等が課題。

③ 事業内容

- ・委託相談件数は増加の一途。計画相談支援は、法人外利用者の新規ケースの受注を原則ストップして対応。
- ・総合相談支援体制の確立に向け、生きづらさを抱えた子どもを含む家庭相談支援を開始。

④ 品質管理

特記なし

2. 2016年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	29,250	⇒	地活補助金 18000 (変額なし)、 計画相談・地域移行 10000 (212件:件数は現状維持として算出)
支出	46,064	↑	人件費の大幅増 (配置強化・つみきサテライト応援など)

② 主課題

- ・総合相談支援体制の確立に向けた対象横断的な専門職連携と地域住民との協働連携。
- ・職員へのSV機能の確立。

③ 年間事業計画（予定）
